

遠賀川流域活動報告

遠賀川流域だより

第24号
平成24年3月

◆遠賀川流域◆ より美しい遠賀川を次代へ
～ 遠賀川流域リーダーサミット開催! 1月22日(日) ～

詳しい記事を見る

遠賀川の水環境改善について、流域自治体の首長が話し合う「第3回 I LOVE 遠賀川流域リーダーサミット（主催：NPO法人遠賀川流域住民の会・国土交通省遠賀川河川事務所）」を平成24年1月22日（日）、飯塚市で開催しました。

会場となったイヅカコスモスコモンには、流域で活動する住民団体や関係者など約500人が参加して熱心に聞き入り、好評のうちに閉会することができました。



活動状況紹介パネルなどの展示



間伐材シートを使用した流域宣言書

第1部 活動発表では、住民団体4グループによる日頃の活動状況の発表に、会場の聴講者から大きな拍手が贈られました。



「河川敷の草を刈り堆肥にして、米や菜作りに活用する取り組み」
嘉穂水辺の楽校周辺の環境を守る会
安部 和義 氏



「源流の竹林を整備し竹炭を作り、河川浄化に活用する取り組み」
福岡県立嘉穂総合高校
大隈城山校 生徒代表



「堀川に五平太舟を浮かべ、堀川の再生に取り組む活動」
堀川再生の会・五平太
中村 恭子 氏



「アカウミガメの保存活動の取り組み」
岡垣ウミガメ倶楽部
濱田 孝 氏

第2部 流域リーダーによるパネルディスカッションでは、北九州市をはじめとした6首長たちと、国、県の河川管理者がパネラーとして参加し、各々の河川との関わりや取り組みなどについて説明。

遠賀川の自然再生にむけて、子ども達の環境教育の必要性や活動団体への財政支援検討についての意見などが出されました。



北九州市長
北橋 健治 氏



飯塚市長
齊藤 守史 氏



嘉麻市長
松岡 賛 氏



芦屋町長
波多野 茂丸 氏



小竹町長
松尾 勝徳 氏



大任町長
永原 譲二 氏



福岡県河川課長
池永 昭夫 氏



遠賀川河川事務所長
西澤 洋行

第3部 遠賀川流域宣言では、流域22市町村長、小川県知事、遠賀川河川事務所長が一堂に会し、「母なる遠賀川をより美しい川として次世代へ引き継ぐ」とした「遠賀川流域宣言」を赤池中学校の生徒たちが力強く読み上げた後、連携に向けて互いに手を取り合い、遠賀川の歴史にとって大きな一歩となりました。



宣言を読み上げる福智町立赤池中学校の生徒たち

遠賀川流域宣言

遠賀川は人々に限らない恵みを与え、生活に潤いと調和をもたらす私たちの「生命の川」です。そして産業、経済の礎となって流域の歴史を育んできました。しかしながら、近年における社会経済の変化に伴い、水質汚濁やゴミの不法投棄などにより河川環境が悪化してきました。私たちは、悠久の歴史を刻んできた母なる川、遠賀川を流域22市町村共有の貴重な財産であると認識し、子や孫、そして将来この流域を訪れるすべての人たちのために、美しく豊かな河川環境とその生態系を守り続けなければなりません。ここに、流域に住む私たちみんなが連携して次のことに取り組み、遠賀川をより美しい川として次の世代へ引き継ぐことを宣言します。

1. 私たちは、水源の山々から海までつながり響きあう、生命の環を育てます。
遠賀川の豊かな水の流れや生態系を守るため、山・川・海と水でつながる流域の人々がお互いを思いやり、一体となって水源の森林や多様な生物の生息・生育環境を守り育てます。
2. 私たちは、ふるさとの川、遠賀川を誇りに思い、みんなで守ります。
遠賀川が、安らぎや愛着を感じるふるさとの風景となるよう、人々の五感に心地よい川づくりに取り組むと共に、川に学び、川を見守る活動を通じて、遠賀川をより深く理解し、大切に守ります。
3. 私たちは、深い感謝の心をもって、遠賀川に礼をつくします。
遠賀川をより清く美しくするために、住民、事業者及び行政が連携して、関連する法令を守り、汚水処理施設の整備促進、生活排水対策、ゴミゼロにむけた一斉清掃など日々の努力を続けます。

平成24年 1月 22日



遠賀川流域宣言後、互いに手を取り合う遠賀川流域22の首長たちと、福岡県知事(中央)、遠賀川河川事務所長(左端)

詳しい情報はWebで!! 「遠賀川河川事務所」のHP版の「流域だより」にはより詳細な情報と、たくさんの写真も掲載されています。※検索画面において、[遠賀川流域だより](#) [ダウンロード](#) で検索してください。

◆嘉麻市◆

山林における竹の脅威を知ろう 源流の森再生応援団 10月2日(日)、11月9日(水)

[詳しい記事を見る](#)

かつて竹林はタケノコや竹材の生産地として活用されていましたが、輸入品の増加や、石油製品の普及によって次第に放置されるようになり、手入れがされなくなった竹林は急速に拡大し、森の中の太陽光を遮り、元々あった森の環境を破壊してしまいます。「源流の森再生応援団」は、森に侵食した竹を伐採し、健全な山林を保全すると共に、伐採した竹で河川の水質浄化に効果のある“竹炭”を作る活動を進めています。

2回目の活動となった今回は、嘉麻市千手地区において竹炭作り用の竹伐採作業を2日間(10月2日、11月9日)にわたって行い、作業には芦屋町や中間市の皆さん、北九州市立大学の学生、福岡県立嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校の生徒90人を含む総勢150人の皆さんが参加されました。

慣れない竹林での伐採や竹の割揃えに参加者達は悪戦苦闘していましたが、参加した高校生からは「川の上流に住んでいる方が多く参加してくれたのが嬉しい」「竹の繁殖力の強さに驚いた」などの声が聞かれました。



竹が乱立する竹林で伐採は大変な作業でした

切った竹をリレー渡して運び出します

竹を四つ割りにして50本程で束ねていきます



昼食は地元の皆さんが作ってくれた豚汁をいただきました

疲れた体を山の空気と昼食で癒します

森の現状を学ぶ「森林環境講習会」

◆遠賀川流域◆

遠賀川を愛する人々が大集合 「I LOVE 遠賀川」 10月9日(日)

[詳しい記事を見る](#)

今年で24回目を迎えた清掃奉仕活動「I LOVE 遠賀川」が、飯塚市を流れる遠賀川の河川敷で開かれました。この取り組みは、「遠賀川周辺の環境に直接ふれあう事で、河川愛護に目覚めて欲しい」と有志一同で始められ、地元の理解と協力もあり、次第に多くの賛同者が集まり、今では約2千人規模のイベントとなりました。

参加者たちは、同市吉原町の芳雄橋から遠賀川の上下流約2キロづつに分かれ、約1時間半かけて除草やゴミ拾いを行い、約6トンのゴミを収集しました。参加者は、「何年前は自転車やテレビなどの粗大ゴミが多く、処分に苦労していたが、近年はゴミも少なくなり、河川敷が年々キレイになっていると感じる」と話していました。

清掃後は、若菜小と菰田小の児童が育てた米を使ったおにぎりの振る舞いもあり、参加者の労をねぎらっていました。



飯塚市地域ではたくさんの方が参加して活動されています

嘉穂地区の清掃活動

稲築地区の清掃活動

山田川の清掃活動

◆八幡西区◆

笹尾川水辺の楽校で遊んで学ぼう 10月10日(月)

[詳しい記事を見る](#)

「笹尾川水辺の楽校」とは、湿地帯やせせらぎ水路などの水生生物の生息空間を備え、子供たちの自然勉強の場として活用すべく、平成15年度に整備された人と水辺のふれあいの公園です。

今回は小学4年生から6年生までの児童とその保護者が参加し、カヌー教室や河川遊覧、投網による魚取りや、笹尾川に棲む水生生物の観察会、竹で水鉄砲を作っての射的ゲームなど、環境学習から遊びまで沢山のプログラムが行われました。

参加した小学生からは「普段はほとんど川には近づかないけれど、沢山の小さな生物がいるのに驚いた」「思ったより川がきれいだった」などの声が聞かれました。



救命胴衣を正しく装着します

カヌーで水上遊覧 気分は冒険家!?

網を投げて魚を捕まえます

水生生物の話に皆、真剣な表情



竹で水鉄砲作りです

竹の水鉄砲で射的 次々と的にヒット!

カレーでお腹いっぱい

川について楽しく遊んで学ぶ事が出来たかな

遠賀川流域活動報告

◆中島地区◆ 中島の自然再生は着々と進んでします 10月29日(土)

[詳しい記事を見る](#)

現在、中間市にある遠賀川の中洲“中島（なかしま）”では、地域住民と連携した自然再生事業が実施されています。今回開催された22回目のワークショップでは、事業の進捗と実施状況の確認が行われました。

参加者達は現地に赴き、遊歩道の歩き心地や、整備中のサイクリングロード、造成中の畑やブナの木々の生育などを熱心に見学しました。参加者は、「図面や、イメージスケッチで想像していた世界を目の当たりに出来て良かった」と話され、机上の検討と実際の現場との違いを感じる良い機会となりました。



活動報告と計画を話し合い



観測会の空は雨模様



整備中のサイクリングロードとタブの木の森



ヨシノボリ・フナ・オイカワなどの魚がいました



竹の有効活用 竹炭づくり（報告編） 10月11日(火)

第22号で紹介した「竹炭づくり（準備編）7月24日(日)」の続報です。前回伐採した竹は、ドラム缶にキッチリと詰め込まれ、10月11日(火)に火入れを行い、約6時間かけて焼かれました。しかし、中が見えないドラム缶の火加減は難しく、竹のほとんどが燃えてしまい少量の竹炭しか回収できませんでした。この失敗に意気消沈しているとおもいきや、参加者からは「この失敗を次回に活かしたい」「早く再挑戦したい」と前向きな声が多く聞かれました。



竹がキッチリと詰められた釜



火を入れて竹炭づくり開始



煙の状態で加減を見ます



窯を土で密閉、十分に冷ました後、炭を取り出します



◆田川市伊田◆ 川辺を彩る巨大クリスマスツリー 12月23(金)～25日(日)

[詳しい記事を見る](#)

田川市伊田の彦山川に、クリスマスツリーを模した巨大イルミネーション5基が今年のクリスマスにお目見えし、鮮やかな光が川面を彩りました。

河川の清掃などに取り組む福智町の住民グループ「ひこさんがわ夢の会」（大久保琢磨会長）が「人々が川辺に集まるイベントを開こう」と、2009年からクリスマスに合わせて実施されています。

会の活動に賛同した福智町の建設業者5社の協力で、高さ55メートルもあるイルミネーション（LED（発光ダイオード）を取り付けたロープ）をクレーン車で高々と持ち上げ、辺りが暗くなるのを待って明かりが灯されました。

大久保さんは「イルミネーションをきっかけに、河川の環境美化にも関心を持ってもらいたい」と話していました。



川面に映り込んだ逆さツリー



雪だるまも優しい淡い光でお出迎え



パネル展示や出店のコーナー



幻想的なツリーに目を奪われます

◆中間市◆ 天高く舞い上がれ！ ふるさと遠賀川親子凧揚げ大会 1月15日(日)

[詳しい記事を見る](#)

中間市役所前の河川敷で「第31回 ふるさと遠賀川親子凧揚げ大会」が開催され、約200人の親子連れが集まりました。

当日は今にも雨が降り出しそうな空模様でしたが、小さい子供からお年寄りまで、自前の凧（自分で組み立て、重心のバランスを整える）でこの日を迎えている事もあり、自分の好きなアニメのキャラクターや、本物の鳥そっくりの絵が書かれた凧を持参する人もいて、開始がまちきれない様子。一斉に飛び出した色とりどりの凧の舞は一見の価値あります。



様々な凧を持参した参加者が河川敷に集まりました。



蓮凧が一斉に空に舞い、まるで空へ続く階段のようでした



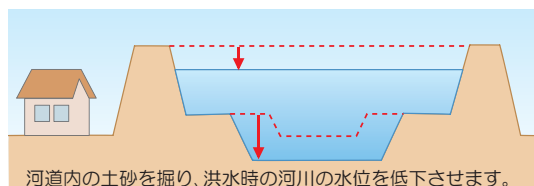
遠賀川特定構造物改築事業(中間堰)について

平成23年10月から本格的に着手した「中間堰改築工事」について、工事の状況を地域の皆さまにお知らせする「中間堰かわら版」が発行されました。今回はかわら版の内容の一部をご紹介します。「中間堰かわら版」については、遠賀川河川事務所のホームページの「トピックス」に掲載しています。

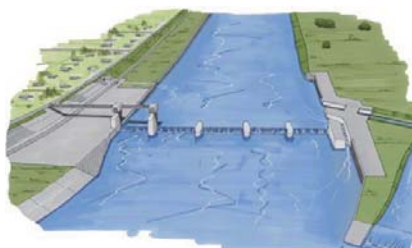
なぜ中間堰を改築する必要があるの？

遠賀川の11k300付近に位置する中間堰は、工業用水等の取水を目的として、昭和4年に設置された堰であり、周辺には市街地が広がっています。近年、大雨による洪水被害が全国各地で発生しており、遠賀川でも平成21年7月と平成22年7月に大雨による洪水が発生し、水位が非常に高い状態となりました。

このことから、川の掘削とそれに伴う中間堰の改築を行い、川の断面を大きくすることで洪水時の水位を低下させ、地域の洪水に対する安全度を高めます。



河道内の土砂を掘り、洪水時の河川の水位を低下させます。



中間堰の完成イメージ図 ※今後、各設備の詳細な仕様、設置位置、デザイン等に変更が生じる場合があります。

新中間堰概要

堰長 139.0m (魚道を含みます)
ゲート・制水ゲート 高さ3.63m×幅22.7m×4門
・調節ゲート 高さ3.63m×幅18.0m×1門

現在行っている工事の内容

- ◎ 写真の黄色の点線部分が新しい中間堰の位置になります。
- ◎ 工事は、遠賀川を3分の2程せき止めて水を抜いた、写真の赤色丸枠の箇所で行っています。
- ◎ 現在、堰を支える杭を河床に設置する作業と、堰本体のコンクリート打設を行っています。
- ◎ 事業は平成27年度までの予定ですが、この工事は平成25年5月末までの工期になります。
なお、毎年6月～10月は出水期のため工事は一時中止となります。



堰を支える杭を河床に設置しています。



堰本体のコンクリート堰柱を打設しています。

《重要なお知らせ》3月の夜間作業について

- ◎ 現在まで、鋭意工事を進めて参りましたが、1月末から2月にかけての天候不順により工事の進み具合が思わしくありません。また、河川での工事は6月～10月の出水期間は工事ができないため、5月までに現在の工事を完了させる必要があります。
- ◎ そこで、**3月の1ヶ月間のみ夜間作業(20:00～翌5:00)**を実施します。
- ◎ **夜間は、鉄筋や型枠の組立など、大型重機を必要とせず工事振動が最小限に抑えられる作業のみ実施します。**
- ◎ 地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

中間堰改築工事に関する
問い合わせ先

工事の発注者：国土交通省 遠賀川河川事務所 中間出張所
工事の請負者：清水建設株式会社 中間堰改築工事作業所

電話：093-245-0154
電話：093-243-3745

流域内のイベント等の予定

- ・ 3月17日(土) 第23回 遠賀川中島自然再生ワークショップ
- ・ 4月 8日(日) 犬鳴川桜まつり(前夜祭は 4月7日(土))
- ・ 4月中旬頃(未定) 直方チューリップフェア
- ・ 3月は鮭の稚魚放流が行われています。詳しくはNPO法人遠賀川流域住民の会ホームページをご覧ください。

【場 所】

中間市 ハピネスなかま、中島
宮若市本城 犬鳴川河川公園
直方市 直方リバーサイドパーク

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 (0949) 22-1830

FAX (0949) 22-2859

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 0948-22-3535
<http://www.ongagawa.jp/>